



モリオン るじいちゃん のみいちゃん かわるん
エコちゃんず

平成 28 年度 環境教育・学習事業実施結果一覧



【かわさき地域環境教育コーディネーター研修の様子】

はじめに

地球温暖化や失われつつある生物多様性、資源循環などの様々な環境問題に対処していくためには、市民、事業者、行政などの様々な主体が環境に配慮した行動を実践していくことが重要です。そのため、**家庭や地域、学校、職場などの様々な場面において環境教育・学習を推進して環境に関する理解を深め、行動に結びつけていく必要**があります。

本市では、平成 7 年 11 月に環境教育・学習を推進するためのガイドラインとして「川崎市環境教育・学習基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定し、普及啓発事業の充実や市民、事業者の参加による地域づくり等の各種の取組を進め、現在では、市民、事業者、学校などの行政以外の様々な主体においても積極的に環境教育・学習の取組が行われています。

平成 28 年 3 月には、様々な主体や世代が相互に協力して学び合い、地域全体で環境教育・学習を発展させていくための仕組みづくりに向けて、基本方針を改正しました。この仕組みづくりとして、**環境教育・学習の充実の視点として「つながる」、「伝える」、「活かす」という 3 つの基本的な方向性**の体系に整理し、分野横断的に取組を推進することとしています。

その基本方針に沿って環境教育・学習を着実に進めていくため、毎年度、「環境教育・学習事業実施結果一覧」として実績報告をとりまとめ、事業の進捗状況を確認し、課題等を把握し、必要に応じて基本方針の見直しを図ることとしています。

今回の報告書では、平成 28 年度における事業実施結果の一覧のほか、基本方針の改正で新たに定めた 3 つの基本的な方向性ごとに実施事業を整理しました。

協働取組の推進【つながる】 市民、事業者、行政が相互に協働・連携して、環境教育・学習に地域全体で取り組む	・ 川崎の地域資源を活用したつながり (環境教育に関する情報共有の協働・連携プラットフォームの形成) ・ 環境教育・学習に関する協働への支援 (環境教育支援ポータルサイトの開設)
環境教育・学習を地域で実践【伝える】 家庭や職場、地域、学校等の様々な場で環境教育・学習を実施し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促す	・ 関心を引きつけて行動を促す取組 (家庭、職場、地域ごとの戦略的アプローチ) ・ 成長過程に応じた取組 (幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校・大学での教育)
人材育成とその活用【活かす】 環境教育の持続的な発展に向けて、地域環境リーダー等の人材育成や環境教育・学習の活動の場の充実により、地域の活動をさらに促進	・ コーディネーターの育成・活用 (人と地域を結ぶコーディネーターの育成) ・ 環境教育・学習に係る拠点・施設の充実 (民間事業所の体験の機会の場合への認定)

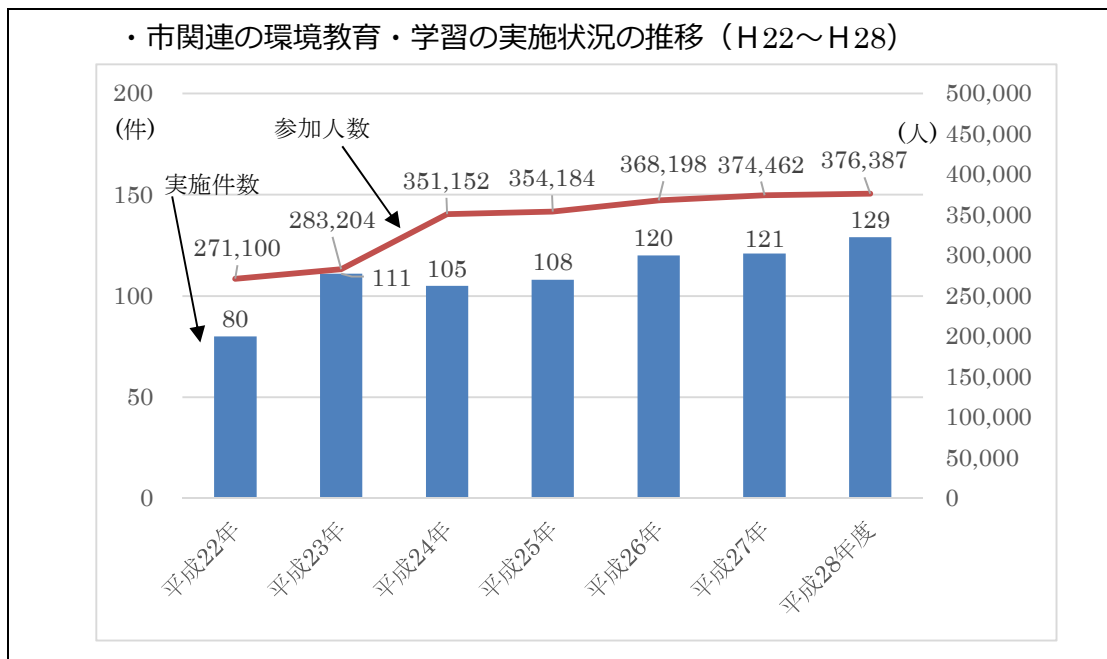
目次

第1章 環境教育・学習の実施状況の概況	1
(1) 平成 22～28 年度における実施状況の推移	1
(2) 川崎市地域環境リーダー育成講座の修了人数	1
第2章 基本的な方向性「つながる」の取組状況	1
(1) 川崎の地域資源を活用したつながり	2
ア 「環境技術の集積」でつながる	2
イ 「河川や丘陵地等の豊かな自然」でつながる	2
ウ 「数々の環境教育・学習の拠点」でつながる	3
エ 「地域における活発な取組」でつながる	4
(2) 環境教育・学習に関する協働への支援	4
第3章 基本的な方向性「伝える」の取組状況	7
(1) 関心を引きつけて参加を促す取組	7
ア 家庭での取組	7
イ 職場での取組	7
ウ 地域での取組	8
(2) 成長過程に応じた取組	9
ア 幼稚園・保育所等での取組	9
イ 小・中学校での取組	9
ウ 高等学校・大学での取組	10
エ 自発的な意思を尊重した取組	10
オ 効果的な情報発信	10
第4章 基本的な方向性「活かす」の取組状況	11
(1) コーディネーターやファシリテーターの育成とその活用	11
(2) 環境教育・学習に係る拠点・施設の充実	11
第5章 平成 28 年度環境教育・学習事業実施一覧	12
第6章 環境教育・学習の取組状況の評価	16
参考	17
(1) 川崎市における環境教育・学習の位置づけ	17
(2) 環境教育・学習を取り巻く世界、国及び川崎市の動き	18

第1章 環境教育・学習の実施状況の概況

(1) 平成22～28年度における実施状況の推移

環境教育・学習の取組状況の把握及び情報の共有化を図るため、川崎市では平成22年度実施分から毎年度、「川崎市環境教育・学習実施結果一覧」を作成し、ホームページで公開しています。平成22年度から平成28年度までの川崎市関連の環境教育・学習の年間実施件数及び参加人数の推移は次のグラフのとおりです。



(2) 川崎市地域環境リーダー育成講座の修了人数

平成10年度から地域環境リーダー育成講座を開始しています。平成28年度までに延べ309人が地域環境リーダーとなり、地域で活躍されています。

年度	期	人数	年度	期	人数
平成10年	第1期	21	平成20年	第11期	20
平成11年	第2期	12	平成21年	第12期	11
平成12年	第3期	17	平成22年	第13期	17
平成13年	第4期	17	平成23年	第14期	19
平成14年	第5期	18	平成24年	第15期	15
平成15年	第6期	20	平成25年	第16期	16
平成16年	第7期	17	平成26年	第17期	12
平成17年	第8期	12	平成27年	第18期	9
平成18年	第9期	30	平成28年	第19期	8
平成19年	第10期	18			

第2章 基本的な方向性「つながる」の取組状況

(1) 川崎の地域資源を活用したつながり

平成 28 年度は環境教育・学習プラットフォームを構築しました。（P 5～6 参照）

ア 「環境技術の集積」でつながる

川崎市は、かつて深刻な公害を経験しました。公害克服に向けた取組の過程において培ってきた優れた環境技術の集積は、現在では川崎市の大きな強みとなっており、環境技術を通じて世界貢献に取り組んでいます。

平成 28 年度は、様々な普及・啓発や研修生の人材の育成が行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
環境出前授業(川崎国際環境技術展イベント)	3	92
作って体験!夏休みエコ学習 (ゼロ・エミッション工業団地)	5	145
川崎エコタウンへの視察者受け入れ	77	1,382
環境技術研修生(上海市)の受け入れ(国際経済推進室)	1	2
環境技術研修生(瀋陽市)の受け入れ(環境総合研究所)	1	2
環境産業フォーラム	1	220
合 計	88	1,843

イ 「河川や丘陵地等の豊かな自然」でつながる

川崎市は、多摩川や多摩丘陵とその丘陵を流れる鶴見川や中小河川、東京湾など、様々な自然環境が豊富にあります。平成 28 年度は、自然観察など、人と自然、自然と生き物のつながりを理解してもらう講座や人材育成等が行われました。



多摩川での生き物観察

取組内容	取組回数	参加人数
生田緑地観察会(かわさき宙と緑の科学館)	31	1,229
自然ワークショップ(かわさき宙と緑の科学館)	12	1,057
自然観察会(かわさき宙と緑の科学館による生田緑地以外での観察会)	2	44
子どものための昆虫学教室(かわさき宙と緑の科学館)	3	46
子どものための植物学教室(かわさき宙と緑の科学館)	3	38
初心者のための植物観察講座(かわさき宙と緑の科学館)	3	57
ふるさと資産・遺産活用推進事業(多摩川の渡し場イベント)	4	411
水辺の楽校プロジェクト(かわさき、とどろき、だいし水辺の楽校)	32	2,036
環境学習推進事業(ニヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター等)	28	1,599
かわさき多摩川博事業(多摩川の魅力・情報を発信するイベント)	5	739
こども黄緑クラブ(川崎市公園緑地協会による子ども対象イベント)	4	118
市民植樹祭	1	166
水環境体験ツアー(市内の湧水地から海までの水循環を巡るイベント)	1	38
多摩川河口干潟の生きもの観察会(環境総合研究所)	4	180
合 計	133	7,758

ウ 「数々の環境教育・学習の拠点」でつながる



取組内容	取組回数	参加人数
かわさきエコ暮らし未来館 環境教室	33	1,186
CC かわさき交流コーナー パネル展示及び関連講演会	33	1,008
王禅寺エコ暮らし環境館 環境教室	3	1,437
環境総合研究所		
夏休み環境科学教室	4	142
こども環境科学教室	2	78
環境科学セミナー	1	42
多摩川河口の野鳥観察会	1	51
かわさき星空ウォッチング in キングスカイフロント	1	64
環境セミナー	1	51
オープンラボ 2016	1	39
橋リサイクルコミュニティセンター 講座等	145	839
廃棄物処理施設 施設見学受け入れ	163	10,295
ニヶ領せせらぎ館 環境学習推進事業等	42	1,393
大師河原水防センター 環境学習推進事業等	80	3,492
夢見ヶ崎動物公園		
サマースクール	1	15
幸区動物愛護教室	1	20
職場体験学習	13	36
小学校での動物講座	2	290
実習受け入れ	3	2
見学受け入れ	3	45
動物園まつり	1	5,000
飼育の日	1	1,000
水とかがやく未来館(長沢浄水場) 浄水場施設見学受け入れ	1	11,485
入江崎水処理センター 入江崎施設見学受け入れ	1	1,219
水辺の楽校シンポジウム	1	200
合 計	538	39,429

エ 「地域における活発な取組」でつながる

地域における活発な取組も、地域の環境活動を支える地域資源となります。平成 28 年度も花と緑の市民フェアなどの様々な機会における活動団体同士の交流や環境活動等を通じた学習が行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
多摩川美化活動	1	12,018
市内統一美化活動（住居周辺、駅前広場、歩道等での清掃活動）	1	41,836
ＣＣかわさきエコ会議シンポジウム（地球温暖化関連）	1	100
カードゲームで環境問題を学ぼう（すくらむ 21 まつり内で実施）	1	50
花と緑の市民フェア（花と緑を暮らしのなかにを合言葉としたイベント）	1	62,000
環境保全型農業技術講習会（セレサ川崎農業協同組合での講演）	1	9
フリーマーケット（かわさき市民まつりで実施）	1	60
わがまち花と緑のコンクール事業（ガーデニングの表彰）	1	108
かわさき緑のカーテン（ゴーヤー等の種子をイベントなどで配布 6,500 包）	1	32,000
かわさきみずみずフェア（6 月 1 日～7 日水道週間のイベント）	1	1,011
合 計	10	149,192

(2) 環境教育・学習に関する協働への支援

各主体による環境教育・学習の推進に向けた協働・連携の支援として、平成 28 年度は、環境教育・学習支援ポータルサイトを運用して情報提供を強化したほか、川崎市市民活動センターによる市民活動の支援、緑のカーテン作戦のためのゴーヤーの種子配布などの様々な支援も引き続き行われました。



取組内容	取組回数	参加人数
環境教育支援ポータルサイトの開設	—	—
かわさき市民活動センターによる市民活動の支援	—	—
かわさき市民公益活動助成金の交付(かわさき市民活動センター)	1	61
地球に美味しい「エコ・クッキング」事業（小学校等で実施）	6	112
くらしのセミナー（消費者行政センターから要望に応じて講師を派遣）	—	—
夏休み親子向け消費者教育講座	1	26
幸区 緑のカーテンの作成とゴーヤーの種子配布	1	200
多摩区エコロジーライフ事業(温暖化防止に向けた区民との協働事業)		
地域イベントへのリユース食器の貸出し	2	1,000
緑のカーテン作成とゴーヤーの種子配布	1	200
合 計	12	1,599

みんなでつながる、未来につなげる 環境教育・学習プラットフォーム

川崎市内で環境教育・学習に取り組んでいる市民活動団体や企業、地域の環境学習拠点、行政、学校等と環境教育・学習情報を共有するネットワーク「環境教育・学習に関する情報共有を図る協働・連携プラットフォーム」づくりに取り組んでいます。みなさんの積極的な御参加をお待ちしています。
(プラットフォームに参加登録を申し込むか、チラシ裏のサイトやアプリ等に登録していることを担当に連絡いただくだけで参加できます!)

環境教育・学習に関する情報共有を図る協働・連携プラットフォーム

多様な主体や世代間でつながるネットワークを形成し、環境教育・学習に関する情報を共有
皆様からいただいた市内の環境イベントなどの情報を市で集約し、環境教育の情報発信を行います



【情報収集・集約】

プラットフォーム参加登録者からの情報のほか、「つながって KAWASAKI」、「かわさきイベントアプリ」に掲載されている情報も参考に、「環境教育・学習の推進」に関する情報を市で集約します。

※つながって KAWASAKI は市のホームページと連携しています。

【情報発信】

集約したイベントのお知らせを市ホームページ等で案内します。

また、ESDに関連する取組の報告をいただくことで、市内のESDの取組事例として紹介します。

(いただいた情報のすべてを案内・紹介はできません。あらかじめ御了承ください。)

市ホームページでは「応援ナビかわさき」や「かわさきの生涯学習情報」のリンクを置き、人材情報、団体情報も紹介します。



つながって KAWASAKI などの情報を参照



ホームページやアプリを活用してみんなでつながろう！

次に紹介しているサイトやアプリに登録していることを川崎市環境局環境調整課に連絡いただくだけで、環境教育・学習プラットフォームに参加できます。みんなで一緒に環境教育・学習を進めましょう！

サイト・アプリ	内容
協働・連携ポータルサイト「つなぐっと KAWASAKI」 運営受託主体 公益財団法人かわさき市民活動センター つなぐっと KAWASAKI で検索	つなぐっと KAWASAKIとは 川崎市内の地域の多様な主体による協働・連携の取組について市民が気軽に知り、参加を応援するポータルサイトです。 地域で活動したい個人や団体向けの情報として「イベント・講座」「サークル案内」「かわさきの今を知る」「つなぐ」「地域活動レポート」「ソーシャルビジネス」「助成金情報・『キフ』で支える」等の情報を主に発信しています。みなさまのボランティア活動や地域貢献活動等への参加を支援していますので、ぜひともご覧ください。
スマホ向けアプリ「かわさきイベントアプリ」 運営主体 川崎市総務企画局 ICT 推進課 かわさきイベントアプリ で検索	かわさきイベントアプリとは 川崎市内のさまざまなイベント情報を、行政、民間の隔てなく一体的に発信するアプリです。イベント種類や開催場所での検索機能の他、かわさきに関する「まめ知識」の表示や地域ニュースの配信、ウォーキング・お散歩マップの機能があります。iPhone (iOS 端末) の方は「App Store」、Android 端末の方は「Google play」からダウンロードしてください。 かわさきイベントアプリへの情報登録を希望される事業者・市民団体等の方は、「かわさきイベントアプリの情報登録者（事業者・市民団体等）募集！」のページの登録用フォームから登録手続きをしてください。
かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」 運営主体 (公財)かわさき市民活動センター 応援ナビかわさき で検索	応援ナビかわさきとは おもに川崎市内のボランティア・市民活動の情報を、市民や市民活動団体、行政、企業などが、双方向から情報を収集・発信しながらネットワークを形成し、さまざまな分野で活躍する市民活動団体を支援するための情報拠点です。 このサイトでは、ボランティア・市民活動団体自らが情報発信するために、団体登録を受け付けています。団体登録を行うと、本サイト上に情報発信の場が提供され、団体の活動紹介ができるほか、ボランティアの募集やイベント情報などを掲載することができます。
生涯学習財団ホームページ「かわさきの生涯学習情報」 運営主体 (公財)川崎市生涯学習財団 かわさきの生涯学習情報 で検索	かわさきの生涯学習情報とは 財団ホームページ『かわさきの生涯学習情報』の生涯学習に関わる「講座・イベント情報」、「生涯学習関連施設情報」、「団体・グループ情報」、「指導者・人材情報」等の情報や、「かわさきの講座・イベント情報検索システム」による川崎市や関連施設・団体等の「講座・イベント情報」の積極的な収集と、生涯学習情報の効率的な提供を行っています。団体・グループの登録を受け付けています。
環境らしんばん 運営 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC) 環境らしんばん で検索	環境らしんばんとは 環境について「知りたい／調べたい／実践したい」人が団体・イベント・ボランティアなどの情報を作画することができる、国内最大級の環境情報サイト。新規団体登録を受付しています。
関東地方 ESD 活動支援センター 運営 関東地方環境パートナーシップオフィス(関東 EPO) ESD 活動支援センター で検索	関東地方 ESD 活動支援センターとは ESD 活動支援センター(全国センター)や地方自治体、地域 ESD 活動推進拠点(地域 ESD 拠点)等との連携のもとに、ESD 推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たします。 環境教育・学習プラットフォームでお寄せいただいた川崎市内の ESD の取組情報を、関東地方 ESD 活動支援センターに提供します。
こどもエコクラブ 運営：(公財)日本環境協会 こどもエコクラブ で検索	こどもエコクラブとは 幼児(3 歳)から高校生(18 歳)までなら誰でも参加できる環境活動のクラブ。活動に役立つツールなどがもらえます。ホームページからも新規登録できます。
環境パートナーシップかわさき 運営主体 川崎市環境局環境調整課 環境パートナーシップかわさき で検索	環境パートナーシップかわさきとは 川崎の市民、事業者及び市が協働して地域における環境保全活動を促進するための情報交流や協議を行う場として設置している会議組織です。 現在、2016 年から 2017 年までの第 8 期として、27 名の委員が活動中です。

詳しくはホームページ

環境教育プラットフォーム

検索



を御確認ください。

川崎市環境局環境調整課 電話 200-2387

第3章 基本的な方向性「伝える」の取組状況

(1) 関心を引きつけて参加を促す取組

ア 家庭での取組

一人ひとりが日常生活において、省エネや3R、節水などの環境配慮行動を実践につなげていくため、日常の生活の中で環境について考え、環境に配慮した行動を取り入れられるよう様々な情報の提供や支援が重要となります。平成28年度は、大人を対象とした体験型講習会などが開催されました。

取組内容	取組回数	参加人数
市民向けエコドライブ講習会（座学によるエコドライブ講習）	9	181
生ごみリサイクル講習会（生ごみを堆肥にリサイクルする講習会）	3	50
ふれあい出張講座（町内会・自治会等の集会への職員の派遣）	87	28,030
3R推進講演会（ごみ分別やリサイクルに関する講演会）	1	565
化学物質対策セミナー等（化学物質による環境汚染や環境リスクの講習）	3	271
合 計	103	29,097

イ 職場での取組

地球温暖化や廃棄物問題などの様々な環境問題を克服し、将来にわたって安全で安心に暮らせる持続可能なまちづくりを目指すためには、事業者による環境と経済の好循環に向けた取組の充実が必要です。

平成28年度も事業者を対象とした講演会等を開催したほか、市の職員自らの環境配慮活動の実践のための職員研修なども行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
電子マニフェスト操作研修（産業廃棄物管理票のパソコン操作研修）	5	34
電子マニフェスト導入説明会（産業廃棄物の電子マニフェスト説明会）	1	39
廃棄物処理施設設置者等講習会（廃棄物の適正処理等の講義）	1	97
川崎区 職員に対するエコ推進活動	11	165
上下水道局新規採用職員研修（水道、工業用水、下水道の講義）	1	25
交通局 エコドライブ指導者研修	1	3
合 計	20	363



【市民向けエコドライブ講習会の様子】



【ふれあい出張講座の様子】

ウ 地域での取組

平成 28 年度も各地域において様々な環境教育・学習の取組が行われました。

地域	取組内容	取組回数	参加人数
川崎区	緑のカーテン植栽講座	5	477
	川崎区エコプロジェクト事業（植栽活動）	6	144
幸区	さいわい子どもエコフェア	1	800
	廃食油回収による資源循環アピール事業(平成 28 年度 幸区提案型協働推進事業)	8	100
	夢見ヶ崎公園花壇花植え事業	2	289
	公共花壇花植え事業（大師堀花壇）	2	241
	幸区役所庁舎前花いっぱい事業	2	25
	花クラブ講習会	1	118
中原区	中原区エコカフェ	1	150
	花植講習会	1	37
	親子花植体験	2	35
	クリーングリーンなかはらキャンペーン	1	86
高津区	「エコシティたかつ」推進事業（学校流域プロジェクト）	17	1,918
	「エコシティたかつ」推進事業（たかつの自然の賑わ いづくり事業）	2	83
	「エコシティたかつ」推進事業（エコシティホールツ アー）	1	70
	「エコシティたかつ」推進事業（たかつエコシティツ アー）	1	31
	キラリデッキ植栽体験	1	35
宮前区	宮前区民祭 花いっぱい運動	1	1,000
	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業	1	9,362
多摩区	多摩区エコロジーライフ事業（夏休み！多摩区エコフ ェスタ）	1	900
	多摩区エコロジーライフ事業（地球温暖化対策パネル 展）	1	—
麻生区	麻生産菜種油を楽しもう！菜の花プロジェクト	21	432
	エコのまち麻生推進事業（麻生区クールアース推進委 員会）	12	620
	麻生の農と環境を考える（食育）～親子体験教室～	2	48
	緑のカーテン	1	316
	市民自主学級「岡上・さとやま探検隊」	3	22
	ダンボールコンポスト講習会	2	68
合 計		99	17,407

(2) 成長過程に応じた取組

ア 幼稚園・保育所等での取組

「幼児環境教育プログラム集」・
「幼児環境プログラム集活用事例集」
を川崎市と公益社団法人川崎市幼稚園
協会と協働で作成し、市内幼稚園の全
教諭に配布しています。

平成 28 年度は、200 冊を作成し、
幼稚園の新任の教諭に配布し、研修等で活用例を学び、園児に遊びを通じた環境教育・活動を実践されています。また、この取り組みが平成 29 年度地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）を受賞しました。



取組内容	取組回数	参加人数
幼児環境教育プログラムの普及（新任教諭への配布及び研修の実施）	1	200

イ 小・中学校での取組

小・中学生向けの環境副読本を作成したほか、多くの地域環境リーダーが参加している川崎市地球温暖化防止活動推進員による環境出前授業の実施など、平成 28 年度も、地域が学校と連携しての児童・生徒に向けた環境教育・学習が数多く行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
環境副読本（小学校、中学校用）	1	26,100
社会科副読本「くらしとごみ」	1	14,000
副読本「川崎市の水道」	1	14,200
副読本「川崎の下水道」	1	14,200
市内の生き物観察教材の作成（小学校向け）	1	13,500
小学生向け交通環境学習	3	349
出前ごみスクール	123	9,759
環境総合研究所 小中学校総合学習授業	3	212
夢見ヶ崎動物公園 教育委員会向け研修	1	6
中原区 子ども環境授業	5	549
水道週間 川崎市小・中学生作品コンクール	1	14,994
川崎市小学生下水道作品コンクール	1	15,615
水道出前教室の実施	2	170
カッピーの下水道教室	3	250
総合教育センター 希望研修「理科教育」	2	64
総合教育センター 総合的な学習の時間研修講座	1	19
環境出前授業（環境教育ボランティア派遣事業）	22	91
合 計	172	124,078

ウ 高等学校・大学での取組

平成 28 年度の取組としては、環境・自然・地域との共生をコンセプトとした農業研究を行う明治大学黒川農場と連携した事業のほか、黒川の自然を活かした地域連携を進める和光大学とも、里山フォーラム in あさおや生物多様性の保全に向けた取組による連携を進めました。

取組内容	取組回数	参加人数
明治大学黒川農場との連携（生ごみリサイクル実証事業等連携事業）	—	—
和光大学との連携（里山フォーラム in 麻生等の地域連携）	—	—

エ 自発的な意思を尊重した取組

平成 28 年度は、地域環境リーダーの交流の場として、第 13 回エコ・フェスタかわさきを開催しました。

取組内容	取組回数	参加人数
エコ・フェスタかわさき	1	26

オ 効果的な情報発信

様々な主体同士の環境教育・学習の取組状況の共有に向けて、インターネットや月刊情報誌「環境情報」による的確な情報の公開のほか、地域住民自らが地元の川崎を良くしたいという気持ちになるよう、川崎への愛着・誇りを醸成する魅力発信も含めた効果的な情報発信が重要です。

平成 28 年度は、環境情報の発行に加えて、環境教育支援ポータルサイトを開設したほか、市民投稿型 G I S サイト「かわさき生き物マップ」を活用した身近な自然の中の生き物さがしの呼びかけを行いました。さらに、かわさき生き物マップ中に、投稿写真を川崎に生育・生息する生き物の紹介として活用する、「みんなでつくる生き物図鑑」の運用も平成 27 年度から開始しました。



取組内容	取組回数	参加人数
月刊誌「環境情報」の発行	—	—
環境教育・学習に関する情報共有を図る協働・連携プラットフォームの構築	—	—
「ガイドマップかわさき かわさき生き物マップ」を活用した生き物情報の募集及び発信	—	2,224
環境計画年次報告書（上下水道局：ホームページでの公開）	1	0
合 計	1	2,224

第4章 基本的な方向性「活かす」の取組状況

(1) コーディネーターやファシリテーターの育成とその活用

持続可能な社会づくりに向けた地域のネットワークの形成には、様々な人や組織の間の調整やネットワークづくりを担うコーディネーターと、各主体から問題意識や意欲を上手に引き出し、自発的な行動につなげていく役割を担うファシリテーターの存在が欠かせません。そのため、コーディネート能力やファシリテーション能力を持つ地域環境リーダーの育成を進めています。地域環境リーダー以外にも、様々な人材を育てる講座も行われています。さらに、育成した人材の活用も図っています。

平成 28 年度は地域環境リーダー、緑化推進リーダー、里山ボランティアとして 65 名が講座を修了し、これまでの地域環境リーダー育成講座及び平成 22 年度以降の緑化推進リーダー、里山ボランティア育成講座の修了生は延べ 701 名となっています。

取組内容	取組回数	参加人数
地域環境リーダー育成講座	10	14
花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー）	6	24
里山ボランティア育成講座	20	33
花壇ボランティア実践講座	6	22
生ごみリサイクルリーダーの派遣	71	1,768
かわさき地域環境コーディネーター研修会	1	3
合 計	114	1,864

(2) 環境教育・学習に係る拠点・施設の充実

川崎市には、市等の公の施設のほか、環境教育等促進法に基づく環境教育に係る体験の機会の場など、多くの環境教育・学習拠点や関連施設があります。この体験の機会の場の認定を拡大していくなど、体験・実践できる施設の充実に努めるほか、パネル展の開催など、拠点からの情報発信の強化にも努めることとしています。

環境教育に係る体験の機会の場に認定している民間事業者（5か所）	
昭和電工(株)川崎事業所	使用済みプラスチックのアンモニア原料化を通じた環境教育（分別体験、化学実験、事業所見学等）
(株)ショウエイ	ろ過装置を利用した水、熱、電気の省エネ（ろ過実験、事業所見学等）
富士通(株)川崎工場	パソコン分解を通じて学ぶ 3R（パソコンの分解体験・事業所見学） ※平成 29 年度からは P C タブレットを用いた環境教育を実施
明治大学黒川農場	アグリサイエンスアカデミー（農業体験等）
東京ガス(株)東ガスキッチンランド川崎	環境に配慮した食の取り組み（講座、調理実習）

平成 28 年度年度も、環境教育に係る体験の機会の場として認定している事業者において、地域の市民を招いての体験型環境教育・学習が実施されました。

取組内容	取組回数	参加人数
認定体験の機会の場での環境学習	83	1,307

第5章 平成28年度環境教育・学習事業実施一覧

各局・区の取り組みを一覧で示し、平成28年度の実施回数、配布数、平成29年度の実施計画などをまとめました。

NO	局	主管課	取組名称	H28実施回数	H28参加人数・配布数(人、枚)	平成29年度実施予定	事業開始年	事業の目的					対象世代					種別
								地球温暖化	ごみ・資源	生物多様性	地域環境保全	その他	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	その他	
1	市民文化局	市民活動推進課	多摩川美化活動	1	12,018	1	1978					○		○	○	○	○	つながる(1)ーエ
2	市民文化局	市民活動推進課	市内統一美化活動	1	41,836	1	1979					○		○	○	○	○	つながる(1)ーエ
3	市民文化局	市民活動推進課	かわさき市民活動センターによる市民活動の支援	-	-	-	1982					○					○	つながる(2)
4	市民文化局	市民活動推進課	かわさき市民公益活動助成金	1	61	1	2004					○					○	つながる(2)
5	市民文化局	人権・男女共同参画室	カードゲームで環境問題を学ぼう(すくらむ21まつり内で実施)	1	50	1	2013	○				○	○	○	○	○		つながる(1)ーエ
6	経済労働局	国際経済推進室	作って体験!夏休みエコ学習	5	145	なし	2005	○	○			○		○				つながる(1)ーア
7	経済労働局	国際経済推進室	川崎エコタウンへの視察者受け入れ	77	1,382			○	○					○	○	○		つながる(1)ーア
8	経済労働局	国際経済推進室	環境出前授業(川崎国際環境技術展イベント)	3	92	6	2009	○	○		○	○		○				つながる(1)ーア
9	経済労働局	消費者行政センター	くらしのセミナー	0	0	2	1990					○	○	○	○	○		つながる(2)
10	経済労働局	消費者行政センター	夏休み親子向け消費者教育講座	1	26	1												つながる(2)
11	経済労働局	農業振興課	花と緑の市民フェア	1	62,000	1	1970			○			○	○	○	○		つながる(1)ーエ
12	経済労働局	農業技術支援センター	環境保全型農業技術講習会	1	9	1	1999					○					○	つながる(1)ーエ
13	経済労働局	国際経済推進室	環境技術研修生の受け入れ	1	2			○	○		○	○					○	つながる(1)ーア
14	経済労働局	国際経済推進室	環境産業フォーラム	1	220			○	○								○	つながる(1)ーア
15	環境局	環境調整課	地域環境リーダー育成講座	10	14	10	1995	○	○	○	○	○				○		活かす(1)
16	環境局	環境調整課	エコ・フェスタかわさき	1	26	1	2005	○	○	○	○	○					○	伝える(2)ーエ
17	環境局	環境調整課	認定体験の機会の場での環境学習	83	1,307		2013	○	○	○	○	○		○	○	○	○	活かす(2)
18	環境局	環境調整課	環境副読本	1	26,100		1978	○	○	○	○	○		○	○			伝える(2)ーイ
19	環境局	環境調整課	幼児環境教育プログラムの普及	1	200		2003	○	○	○	○						○	伝える(2)ーイ
20	環境局	環境調整課	「ガイドマップかわさき かわさき生き物マップ」を活用した生き物情報収集及び発信		2,224		2014			○		○	○	○	○	○		伝える(2)ーオ
21	環境局	環境調整課	市内の生き物観察教材の作成	1	13,500		2015											伝える(2)ーイ
22	環境局	環境調整課	かわさき地域環境教育コーディネーター研修	1	3		2016	○	○	○	○	○				○		活かす(1)
23	環境局	地球環境推進室	「CCかわさき交流コーナー」を活用した普及啓発の取組	33	1,008	30	2010	○	○	○		○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
24	環境局	地球環境推進室	かわさきエコ暮らし未来館 環境教室	33	1,186	30	2011	○	○			○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
25	環境局	地球環境推進室	CCかわさきエコ会議シンポジウム	1	100	1		○									○	つながる(1)ーエ
26	環境局	地球環境推進室	小学生向け交通環境学習	3	349	3	2008	○			○			○				伝える(2)ーイ
27	環境局	環境管理課	化学物質対策セミナー等	3	271	3	2004					○	○	○	○	○	○	伝える(1)ーア
28	環境局	水質環境課	水環境体験ツアー	1	38	0	2013				○					○		つながる(1)ーイ
29	環境局	大気環境課	市民向けエコドライブ講習会	9	181	9	2004	○			○	○				○	○	伝える(1)ーア
30	環境局	減量推進課	地球に優しい「エコ・クッキング」事業	6	112	10校	2006	○	○			○					○	つながる(2)
31	環境局	減量推進課	生ごみリサイクルリーダーの派遣	71	1,768	81回	2007	○	○				○	○	○	○		活かす(1)
32	環境局	減量推進課	生ごみリサイクル講習会	3	50	1回	2003	○	○				○	○	○	○		伝える(1)ーア
33	環境局	減量推進課	横リサイクルコミュニティセンターの運営	145	839		1993		○			○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ

NO	局	主管課	取組名称	H28実 施回 数	H28参 加人 数・配 布数(人 、枚)	平成29 年度実 施予定	事業開 始年	事業の目的					対象世代					種別
								地球 温暖 化	ごみ・ 資源	生物 多様 性	地域 環境 保全	その他	未就 学児	小学 生	中学 生	高校 生以 上	その他	
34	環境局	減量推進課	出前ごみスクール	123	9,759	125回以上	2005		○			○		○				伝える(2)ーイ
35	環境局	減量推進課	ふれあい出張講座	87	28,030	85回以上	2005		○			○	○	○	○	○		伝える(1)ーア
36	環境局	減量推進課	フリーマーケット	1	60	1	-		○			○	○	○	○	○		つながる(1)ーエ
37	環境局	減量推進課	社会科副読本「くらしとごみ」	1	14,000	1	1977		○			○		○				伝える(2)ーイ
38	環境局	減量推進課	3R推進講演会	1	565	1	1983		○			○	○	○	○	○		伝える(1)ーア
39	環境局	廃棄物指導課	電子マニフェスト操作研修	5	34	5	2014		○								○	伝える(1)ーイ
40	環境局	廃棄物指導課	電子マニフェスト導入説明会	1	39	1	2009		○								○	伝える(1)ーイ
41	環境局	廃棄物指導課	廃棄物処理施設設置者等講習会	1	97	1	2002					○					○	伝える(1)ーイ
42	環境局	処理計画課	廃棄物処理施設見学	163	10,295	昨年度同様	-		○					○				つながる(1)ーウ
43	環境局	処理計画課	エコ暮らし環境館 環境教室	3	1,437	4	2016	○	○	○				○				つながる(1)ーウ
44	環境局	環境総合研究所	オープンラボ2016	1	39	1	2003	○			○	○		○				つながる(1)ーウ
45	環境局	環境総合研究所	多摩川河口干潟の生きもの観察会	4	180	8	2013			○	○	○		○	○	○		つながる(1)ーイ
46	環境局	環境総合研究所	夏休み環境科学教室	4	142	3	2013	○			○	○		○	○			つながる(1)ーウ
47	環境局	環境総合研究所	こども環境科学教室	2	78	1	2013	○		○	○	○		○	○	○		つながる(1)ーウ
48	環境局	環境総合研究所	環境科学セミナー	1	42	なし	2013	○			○	○				○		つながる(1)ーウ
49	環境局	環境総合研究所	小中学校総合学習授業	3	212	5	1999	○			○	○		○	○			伝える(2)ーイ
50	環境局	環境総合研究所	多摩川河口の野鳥観察会	1	51	1	2013			○	○	○		○	○	○		つながる(1)ーウ
51	環境局	環境総合研究所	かわさき星空ウオッチングinキン グスカイフロント	1	64	2	2014				○	○		○	○	○		つながる(1)ーウ
52	環境局	環境総合研究所	環境セミナー	1	51	1	2013	○			○	○				○		つながる(1)ーウ
53	環境局	環境総合研究所	環境技術研修生の受け入れ	1	2	2		○	○		○	○					○	つながる(1)ーア
54	建設緑政局	多摩川施策推進課	ふるさと資産・遺産活用推進事業 (多摩川)	4	411	4	2007					○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
55	建設緑政局	多摩川施策推進課	水辺の楽校プロジェクト	32	2,036	37	2005				○	○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
56	建設緑政局	多摩川施策推進課	水辺の楽校シンポジウム	1	200					○							○	つながる(1)ーウ
57	建設緑政局	多摩川施策推進課	ニヶ領せせらぎ館管理運営業務 (環境学習推進事業含む)	42	1,393	48	2005			○	○	○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
58	建設緑政局	多摩川施策推進課	大師河原水防センター管理運営 業務(環境学習推進事業含む)	80	3,492	72	2007			○	○	○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
59	建設緑政局	多摩川施策推進課	環境学習推進事業(多摩川河川 敷等々力地区)	28	1,599	25	2011			○	○	○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
60	建設緑政局	多摩川施策推進課	かわさき多摩川博事業	5	739	5	2006					○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
61	建設緑政局	みどりの協働推進課	市民植樹祭	1	166	1				○							○	つながる(1)ーイ
62	建設緑政局	みどりの協働推進課	かわさき花と緑のコンクール事業	1	108	1	2005			○				○	○	○		つながる(1)ーエ
63	建設緑政局	みどりの協働推進課	花と緑のまちづくり講座	6	24	6	2001			○						○		活かす(1)
64	建設緑政局	みどりの協働推進課	里山ボランティア育成講座	20	33	15	2000			○	○	○				○		活かす(1)
65	建設緑政局	みどりの協働推進課	花壇ボランティア実践講座	6	22	5	2012			○							○	活かす(1)
66	建設緑政局	みどりの協働推進課	こども黄緑クラブ	4	118	4	2001					○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
67	建設緑政局	みどりの協働推進課	かわさき緑のカーテン	1	32,000	1	2011	○				○	○	○	○	○		つながる(1)ーエ
68	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	サマースクール	1	15	1	1974					○		○				つながる(1)ーウ

NO	局	主管課	取組名称	H28実 施回数	H28参加 人数・配 布数(人、 枚)	平成29 年度実 施予定	事業開 始年	事業の目的					対象世代					種別
								地球温 暖化	ごみ・資 源	生物多 様性	地域環 境保全	その他	未就学 児	小学 生	中学 生	高校 生以 上	その他	
69	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	幸区動物愛護教室	1	20	1	2007					○		○		○		つながる(1)ーウ
70	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	職場体験学習	13	36	10	1995					○			○	○		つながる(1)ーウ
71	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	小学校での動物講座	2	290	2	1975					○		○				つながる(1)ーウ
72	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	実習受け入れ	3	2	3	1992					○					○	つながる(1)ーウ
73	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	見学の受け入れ	3	45	2	2007					○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
74	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	教育委員会研修	1	6	1	2007					○					○	伝える(2)ーイ
75	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	動物園まつり	1	5,000	2	2001					○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
76	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	飼育の日	1	1,000	1	2009					○	○	○	○	○		つながる(1)ーウ
77	川崎区	保育所等地域連携	緑のカーテン植栽講座	5	477	4	2014	○		○		○	○				○	伝える(1)ーウ
78	川崎区	企画課	川崎区エコプロジェクト事業(植栽活動)	6	144	6	2010	○		○		○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
79	川崎区	田島支所区民センター	職員に対するエコ推進活動	11	165	9	2011	○				○					○	伝える(1)ーイ
80	幸区	企画課	さいわい子どもエコフェア	1	800	有	2014	○	○	○	○	○		○		○		伝える(1)ーウ
81	幸区	企画課	緑のカーテンの作成とゴーヤーの種子配付	1	200	有	2008	○		○		○	○	○	○	○		つながる(2)
82	幸区	企画課	廃食油回収による資源循環アピール事業(平成28年度幸区提案型協働推進事業)	8	100	無	2015		○		○	○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
83	幸区	企画課	夢見ヶ崎公園花壇花植え事業	2	289	2	2013			○		○		○			○	伝える(1)ーウ
84	幸区	地域振興課	公共花壇花植え事業(大師堀花壇)	2	241	2	1997			○		○		○			○	伝える(1)ーウ
85	幸区	地域振興課	幸区区役所庁舎前花いっぱい事業	2	25	2	2001			○		○					○	伝える(1)ーウ
86	幸区	地域振興課	花クラブ講習会	1	118	1	2001			○		○	○	○	○	○	○	伝える(1)ーウ
87	中原区	企画課	中原区エコカフェ	1	150	1	2010	○	○	○	○	○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
88	中原区	企画課	子ども環境授業	5	549	5	2011	○	○	○	○	○		○				伝える(2)ーイ
89	中原区	地域振興課	花壇講習会	1	37	1	-			○		○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
90	中原区	地域振興課	親子花壇体験	2	35	2	-			○		○	○	○		○		伝える(1)ーウ
91	中原区	地域振興課	クリーングリーンなかはらキャン ペーン	1	86	1	2004		○	○		○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
92	高津区	企画課	「エコシティたかつ」推進事業(学 校流域プロジェクト)	17	1,918	16	2009			○		○		○			○	伝える(1)ーウ
93	高津区	企画課	「エコシティたかつ」推進事業(た かつの自然の恵みづくり事業)	2	83	2	2010			○		○		○			○	伝える(1)ーウ
94	高津区	企画課	「エコシティたかつ」推進事業(エコ シティホールツアー)	1	70	1	2009	○	○	○	○	○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
95	高津区	企画課	「エコシティたかつ」推進事業(た かつエコツアー)	1	31	1	2016	○	○	○	○	○		○	○	○		伝える(1)ーウ
96	高津区	道路公園セン ター整備課	キラリデッキ植栽体験	1	35	1	2007					○		○				伝える(1)ーウ
97	宮前区	地域振興課	宮前区民祭 花いっぱい運動	1	1,000	1	-			○		○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
98	宮前区	地域振興課	花と緑のあふれる住みよいまちづ くり事業	1	9,362	1	2011			○		○					○	伝える(1)ーウ
99	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業(夏 休み!多摩区エコフェスタ)	1	900	1	2012	○	○	○		○	○	○	○	○	○	伝える(1)ーウ
100	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業(地 球温暖化対策パネル展)	1	-	1	2012	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	伝える(1)ーウ
101	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業(地 域イベントへのリユース食器の貸 出し)	2	1,000	3	2014		○			○	○	○	○	○		つながる(2)
102	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業(緑 のカーテン作成とゴーヤーの種子 配布)	1	200	1	-	○		○		○	○	○	○	○	○	つながる(2)
103	麻生区	企画課	麻生産菜種油を楽しもう!菜の花 プロジェクト	21	432	20	2014	○	○		○	○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ

NO	局	主管課	取組名称	H28実 施回数	H28参加 人数・配 布数(人、 枚)	平成29 年度実 施予定	事業開 始年	事業の目的					対象世代					種別
								地球温 暖化	こみ・資 源	生物多 様性	地域環 境保全	その他	未就学 児	小学 生	中学 生	高校 生以上	その他	
104	麻生区	地域振興課	エコのまち麻生推進事業(麻生区 クールアース推進委員会)	12	620	11	2002	○				○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
105	麻生区	企画課	麻生の農と環境を考える(食育) ～親子体験教室～	2	48	1	2013	○	○					○		○		伝える(1)ーウ
106	麻生区	企画課	緑のカーテン	1	316	1	2009	○				○	○	○	○	○		伝える(1)ーウ
107	麻生区	生涯学習支援課	市民自主学級「岡上・さとやま探 検隊」	3	22	なし	2013			○		○		○				伝える(1)ーウ
108	麻生区	企画課	ダンボールコンポスト講習会	2	68	2	2013	○	○		○			○	○	○		伝える(1)ーウ
109	上下水道局	調整担当	環境計画年次報告書	1	0	1	2012					○				○	○	伝える(2)ーオ
110	上下水道局	庶務課	上下水道局新規採用職員研修	1	25	1	2011					○					○	伝える(1)ーウ
111	上下水道局	サービス推進課	かわさきみずみずフェア	1	1,011	1	2002					○	○	○	○	○		つながる(1)ーエ
112	上下水道局	サービス推進課	水道週間 川崎市小・中学生作品 コンクール	1	14,994	1	1981					○		○	○			伝える(2)ーイ
113	上下水道局	サービス推進課	川崎市小学生下水道作品コン クール	1	15,615	1	1991					○		○				伝える(2)ーイ
114	上下水道局	サービス推進課	浄水場施設見学	1	11,485	1	1955					○		○				つながる(1)ーウ
115	上下水道局	サービス推進課	副読本「川崎市の水道」	1	14,200	1	1978					○		○				伝える(2)ーイ
116	上下水道局	サービス推進課	副読本「川崎の下水道」	1	14,200	1	1978				○			○				伝える(2)ーイ
117	上下水道局	サービス推進課	水道出前教室の実施	2	170	2	2009					○		○				伝える(2)ーイ
118	上下水道局	サービス推進課	カッビーの下水道教室	3	250	3	2007					○		○				伝える(2)ーイ
119	上下水道局	施設保全課	水処理センター施設見学	1	1,219	1					○	○		○	○	○		つながる(1)ーウ
120	交通局	安全・サービス課	エコドライブ指導者研修	1	3	1	2006	○									○	伝える(1)ーイ
121	教育委員会事務局	総合教育センター	希望研修「理科教育」	2	64	1	2009		○		○						○	伝える(2)ーイ
122	教育委員会事務局	総合教育センター	総合的な学習の時間研修講座	1	19	1	2009				○						○	伝える(2)ーイ
123	教育委員会事務局	生涯学習推進課	環境出前授業(環境教育ボラン ティア派遣事業)	22	91	24	2009	○						○				伝える(2)ーイ
124	教育委員会事務局	青少年科学館	生田緑地観察会	31	1,229		1998			○		○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
125	教育委員会事務局	青少年科学館	子どものための昆虫学教室	3	46		2015			○		○		○				つながる(1)ーイ
126	教育委員会事務局	青少年科学館	子どものための植物学教室	3	38		2015			○		○		○				つながる(1)ーイ
127	教育委員会事務局	青少年科学館	自然ワークショップ	12	1,057		2011			○		○	○	○	○	○		つながる(1)ーイ
128	教育委員会事務局	青少年科学館	初心者のための植物観察講座	3	57		2014			○		○				○		つながる(1)ーイ
129	教育委員会事務局	青少年科学館	自然観察会	2	44		1984			○		○		○	○	○		つながる(1)ーイ
合計				1375	376,387													



【地域環境リーダー育成講座の様子】

第6章 環境教育・学習の取組状況の評価

川崎市環境基本計画では、施策の進捗状況を確認するため、指標を設定して、目標の達成に向けた評価をしています。環境教育・学習の推進については、次のとおり指標が設定され、その達成状況を評価しています。

環境基本計画で定める指標	目標、基準年度を基にした指標がめざす方向
環境関連施設利用者数 (環境学習センター等入館者数)	【基準年度】生活環境学習室：3,706人、橘リサイクルコミュニティセンター学習室：103人（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況	【基準年度】出前ごみスクール：78回 ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境学習活動や環境保全活動等の人材育成講座の修了生人数	【目標】2010年度から2020年度までに延べ800人 【基準年度】地域環境リーダー育成講座修了生：226人ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
小・中学校における市民、事業者との協働による環境教育講座等の開催状況	【基準年度】かわさき地球温暖化対策推進協議会による小学校への出前講座の実施ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：環境関連施設利用者数（環境学習センター等入館者数） エコ暮らし未来館：12,268人、エコ暮らし環境館：11,793人、橘リサイクルコミュニティセンター学習室：165人 (対前年度：11,907人増加、対基準年度：多い)	5*	5
■指標：環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況 出前ごみスクール123回、ふれあい出張講座87回開催 (対前年度11回増加、対基準年度：多い)	4.5	
■指標：環境学習活動や環境保全活動等の人材育成講座の修了生人数 地域環境リーダー、緑化推進リーダー、里山ボランティア等の人材育成講座修了生：延べ701人 (対前年度：65人増加、対基準年度：多い)	5	
■指標：小・中学校における市民、事業者との協働による環境教育講座等の開催状況 川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクトによる出前授業78回開催 (対前年度：増加なし、対基準年度：多い)	4.5	
■指標：環境教育の体験の機会の場の認定数 ・5施設（対前年度：増減なし、対基準年度：多い）	4.5*	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

【指標の評価イメージ】

対前年度 対基準値 (対基準年度)	－	＝	＋
＋（良い）	4	4.5	5
－（悪い）	1	1.5	2
＝（同値）	2.5	3	3.5

評価 5：達成状況が対基準値、対前年度のいずれにおいても良い
(評価 4.5：達成状況が対基準値では良いが、対前年度は同値)
評価 4：達成状況が対基準値では良いが、対前年度では悪い
(評価 3.5：達成状況が対基準値では同値だが、対前年度では良い)
評価 3：達成状況が対基準値、対前年度のいずれも同値
(評価 2.5：達成状況が対基準値では同値だが、対前年度では悪い)
評価 2：達成状況が対基準値では悪いが、対前年度では良い
(評価 1.5：達成状況が対基準値では悪いが、対前年度は同値)
評価 1：達成状況が対基準値、対前年度のいずれにおいても悪い

参考

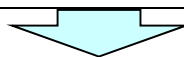
(1) 川崎市における環境教育・学習の位置づけ

川崎市環境基本条例（平成 3 年 1 2 月制定）

第 7 条

（6） 市民が人間と環境とのかかわりについて理解と認識を深め、責任ある行動が取れるよう、系統的な環境教育・学習の推進に努めること。

第 8 条 市長は、環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、地方自治法第 2 条第 4 項の規定に基づく基本構想を踏まえ、環境行政の基本指針となる川崎市環境基本計画を策定するものとする。



川崎市環境基本計画（平成 6 年 2 月策定・平成 23 年 3 月全面改定）

めざすべき環境像

「環境を守り 自然と調和した 活気あふれる 持続可能な市民都市・かわさき」

◆重点分野 環境教育・環境学習の推進

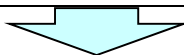
◎重点目標・指標

環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況

環境学習活動や環境保全活動等の人材育成講座の修了生人数

小・中学校における市民、事業者との協働による環境教育講座等の開催状況

環境教育等促進法第 8 条に基づく
「行動計画」としての位置づけ



川崎市環境教育・学習基本方針

（平成 7 年 11 月策定（平成 18 年 3 月改訂）、平成 28 年 3 月改正）

環境教育・学習を効果的に推進していくためのガイドライン

【基本方針の目的】

川崎市環境基本計画に定める目標の実現に向けて、複雑化する環境問題に対応できる人材（多様な主体・問題の関連性への理解等）の育成や、市民活動団体、事業者、行政が協働・連携して取り組む環境教育・学習の体系的かつ効果的な推進を図るための基本的な方向性を示しています。

【基本的な方向性】

◆協働した取組の推進【つながる】

・市民、事業者、行政が相互に協働・連携して、環境教育・学習に地域全体で取り組む

◆環境教育・学習を地域で実践【伝える】

・家庭や職場、地域、学校等の様々な場で環境教育・学習を実施し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促す

◆人材育成とその活用【活かす】

・地域環境リーダー等の人材育成や環境教育・学習の活動の場の充実により、地域の活動をさらに促進

(2) 環境教育・学習を取り巻く世界、国及び川崎市の動き

	世界の動き、国の動き	川崎市の環境教育・学習関連の動き
1970 年代	1972 国連人間環境会議 ストックホルムで開催された環境問題に関する最初の世界的な政府間会議 1975 国際環境教育会議 環境教育専門家による会合でベオグラード憲章を作成 1977 環境教育政府間会議 環境教育に関するトビリシ政府間会議宣言（トビリシ宣言）	1972 公害防止条例を公布（全国を先駆けた総量規制の導入） 1976 環境影響評価に関する条例を公布（全国を先駆けた環境悪化の未然防止の仕組みを導入）
1980 年代	1987 環境と開発に関する世界委員会 持続可能な開発に向けた方策を提言したブルントラント報告	1986 総合教育センターが開設
1990 年代	1992 国連環境開発会議 地球サミット。環境と開発に関するリオ宣言、アジェンダ 21、森林原則声明の合意、気候変動枠組み条約と生物多様性条約への署名が開始 1993 環境基本法の制定 1997 テサロニキ国際会議 環境教育を持続可能性に向けて変化するための備えを与えるものと定義	1990 ごみ非常事態宣言 1991 環境基本条例を公布 1994 環境基本計画を全国に先駆けて策定 1995 環境教育・学習基本方針の策定 1998 地域環境リーダー育成講座開始
2000 年代	2002 国連環境開発会議 持続可能な開発に関する首脳会議 地球サミットの進歩の検証、ヨハネスブルク宣言の採択 2005 国連持続可能な開発のための教育の 10 年開始 2007 国際環境教育会議	2005 一般廃棄物処理基本計画の策定（かわさきチャレンジ 3 R） 2006 環境教育・学習基本方針の改訂 2007 エコドライブ宣言 多摩川プランの策定 2008 緑の基本計画の改定 C Cかわさきエコ戦略
2010 年～	2011 環境教育等促進法に改正 2012 Rio + 20 地球サミットから 20 周年を迎える機会に開催のフォローアップ会合 2013 第 37 回ユネスコ総会 2015 年以降の ESD の枠組みである「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」の採択 2014 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議が名古屋・岡山で開催 2015 国連持続可能な開発サミット 2030 年までの持続可能な開発目標（SDG's）の採択	2010 地球温暖化対策推進計画の策定 C Cかわさきエコ暮らし 3 つのチャレンジキャンペーン 2011 環境基本計画の全面改定 2012 一般廃棄物処理基本計画における行動計画の改定 水環境保全計画の策定 2014 生物多様性かわさき戦略の策定 2016 環境教育・学習基本方針を全面改正



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

平成 30 年 1 月
川崎市環境局環境調整課